原子力・放射線部会

「第 22 回技術士の夕べ」レジュメ

日時：H23 年 1 月 21 日（金）18:00～20:30
場所：日本技術士会　葺手第二ビル5階　A. B 会議室
参加者：32名（講師を含む）

1）講演「EPC（設計・調達・建設）ビジネスのプロジェクトマネジメント」※

講師：宇賀神 剛（日揮（株）、技術士（経営工学、総合技術監理））、司会：成川 幹事

宇賀神 剛 氏

プロジェクトやプロジェクトマネジメントという言葉は国内でも広く使用されている。しかし、その定義や概念は意外と認識されていない。というより、国際的には既に標準化されつつあることが知られていない。

本講演では、プロジェクトマネジメント知識エリアの体系化で歴史のある米国PMI(Project Management Institute：プロジェクトマネジメント協会)の定義や概念を紹介し、プロジェクト業務と定常業務との違い等を解説した。PMI は、NPO 法人で、1969 年に設立され、今や 180ヶ国に 50 万人の会員を擁している。特に、最近5～6年、IT 分野で会員数が急速に増えた。プロジェクトマネジメント標準化については、PMI が発行している PMBOK（Project Management Body of Knowledge)に詳しく記述されている。

次に、日揮（株）における EPC（Engineering Procurement Construction：設計、調達、建設）ビジネス並びにその典型的なプロジェクト遂行について写真などを利用して概説するとともに、EPC ビジネスにおけるプロジェクトマネジメント知識エリア実務の具体例をいくつか取り上げた。 なお、講演者は PMI 認定の PMP（Project Management Professional）資格保持者でもあるが、継続教育にかかる PMI の制度を、技術士会におけるそれと比較しつつ紹介した。

意見交換の中で、「世界のプロジェクトに係る事業は 12 兆円に達する。」「日本では技術者に資格がなくても仕事ができるが、外国ではそうはいかない。今後、日本が技術分野で外国と競争していくには、相応の資格が必要になる。」といった回答があった。

2）「第一次試験合格者歓迎の集い」、司会：林 部会長

第一次試験合格者歓迎集いの風景

講演終了後 20 時から 30 分間、平成22年度技術士第一次試験合格者歓迎の集いが今回初めて開催された。原子力・放射線部門の合格者 3 名と衛生工学部門の合格者 1 名が参加した。成合英樹 筑波大学名誉教授の祝辞と乾杯の後、合格者 4 名の自己紹介があった。その後、合格者より第二次試験受験に向けての対策等について質問が出され、参加していた数名の第二次試験合格者からアドバイスや勉強方法が回答され、和やかな雰囲気の中で進行した。

以　上

※技術士会員の方は《Pe-CPD》http://www.engineer.or.jp/cpd/pe-CPD.html から講演内容のHP視聴ができます。（3月予定）